



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年8月6日

上場会社名 株式会社キューブシステム 上場取引所 東
コード番号 2335 URL <https://www.cubesystem.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 中西 雅洋
問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員社長室長 (氏名) 北垣 浩史 TEL 03-5487-6030
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	4,546	3.1	402	82.6	412	81.6	200	27.1
2025年3月期第1四半期	4,411	0.8	220	△40.3	226	△38.9	157	△32.3

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 285百万円 (25.9%) 2025年3月期第1四半期 226百万円 (△10.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	13.30	—
2025年3月期第1四半期	10.47	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期第1四半期	14,368	10,849	75.5	720.39
2025年3月期	14,366	10,874	75.7	722.27

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 10,849百万円 2025年3月期 10,874百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
2026年3月期	—				
2026年3月期（予想）		20.00	—	22.00	42.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は、通期は対前期増減率、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	9,300	3.1	700	31.2	720	36.3	550	△16.9	36.53
通期	19,500	6.3	1,750	26.7	1,760	26.3	1,220	△3.3	81.03

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

2. 連結業績予想の修正については、本日（2025年8月6日）公表いたしました「2026年3月期第2四半期（中間期）業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期1Q	15,750,000株	2025年3月期	15,750,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	689,886株	2025年3月期	693,536株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期1Q	15,058,714株	2025年3月期1Q	15,051,120株

(注) 期末発行済株式数には、役員報酬BIP信託口及び株式付与ESOP信託口が保有する当社株式（2026年3月期1Q 687,084株、2025年3月期 690,734株）が含まれております。また、役員報酬BIP信託口及び株式付与ESOP信託口が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております（2026年3月期1Q 688,484株、2025年3月期1Q 696,142株）。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、（添付資料）3ページ「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法について）

決算補足説明資料については、TDnet及び当社ウェブサイトのIR情報（<https://www.cubesystem.co.jp/ir/>）で同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	7
3. その他	7

1. 経営成績等の概況

（1）当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益の改善に伴う所得の向上や、インバウンドの増加が加速したことに伴う消費拡大等が牽引し、景気は勢いを弱めながらも緩やかな回復基調を維持しました。一方で、米国の政策変更を起点とする世界経済の不確実性は更に高まっており、世界的な資源・原材料価格の高騰ならびに物価の上昇等、依然として先行きが不透明な状況が続いております。

このような状況下において、情報サービス産業では、顧客のサービスの高付加価値化ならびに人材不足を背景としたDX（ビジネス変革・プロセス変革）需要は継続しており、AI技術の活用に伴う情報化投資やその導入支援が活発化しております。また、レガシーな基幹システムのクラウドへの移行（Lift）、利便性の向上に向けたシステム構築（Shift）に対するニーズも根強く、AIサービスの本格的活用やクラウドサービス利用の拡大に伴い、今後もIT投資は拡大する見通しです。一方で、長期化するIT人材の不足から生じる受注機会の損失や人材獲得競争の激化に起因する人件費の増加により、収益環境が悪化する懸念があります。

当社グループにおきましては、SIビジネスおよびデジタルビジネスにおいて、公共分野やエネルギー分野での受注が拡大する中、リソースの最適化や生産体制の確保、業容拡大に向けた施策を実施してまいりました。また、トラブルプロジェクトの解消に伴う製造原価の減少および退職給付の割引率変更に伴い人件費が減少した結果、当第1四半期連結累計期間における業績は売上高4,546百万円（前年同期比3.1%増）、営業利益は402百万円（同82.6%増）、経常利益は412百万円（同81.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は200百万円（同27.1%増）となり、増収増益で推移いたしました。

当四半期において、子会社である北海道キューブシステムは、2025年4月9日に厚生労働省が障害者雇用に関する優良な中小企業を認定する「もにす認定[※]」を取得しました。障害者雇用の促進および安定に関する取組みの実施状況などが優良と評価されました。当社グループは「ダイバーシティ・マネジメント」の一環として、積極的に障害者雇用を促進することで雇用の安定を図り、社会に貢献し、企業価値向上を目指してまいります。

当社では、GPT APIを利用した対話型の業務支援をセキュアな環境で使用可能とする「InCUBEator」アプリを開発し、社内展開しております。チャット形式でAPIからデータを取得する機能や社内規程、ガイドラインの情報を検索する機能、ChatGPT最新モデルの推論機能等を実装しており、AI技術の研究を活用して業務の生産性向上に繋げております。

※もにす認定制度とは、障害者の雇用促進や安定に関する取組みが優良な中小事業主（300人以下）に対して、厚生労働大臣が認定を行う制度です。

（2）当四半期の財政状態の概況

（資産）

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は9,744百万円となり、前連結会計年度末に比べ61百万円減少いたしました。これは主に売掛金及び契約資産の減少285百万円、有価証券の増加99百万円、前払金の増加88百万円によるものです。また、固定資産合計は4,623百万円となり、前連結会計年度末に比べ63百万円増加いたしました。これは主に、投資有価証券の増加106百万円によるものです。

これらの結果、総資産は14,368百万円となり、前連結会計年度末に比べ1百万円増加いたしました。

（負債）

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は2,197百万円となり、前連結会計年度末に比べ189百万円減少いたしました。これは主に賞与引当金の減少185百万円、未払法人税等の減少157百万円によるものです。固定負債は1,321百万円となり、前連結会計年度末に比べ217百万円増加いたしました。

これらの結果、負債合計は3,518百万円となり、前連結会計年度末に比べ27百万円増加いたしました。

（純資産）

当第1四半期連結会計期間末における純資産は10,849百万円となり、前連結会計年度末に比べ25百万円減少いたしました。これは主に利益剰余金の減少114百万円、退職給付に係る調整累計額の減少50百万円、その他有価証券評価差額金の増加140百万円によるものです。

この結果、自己資本比率は75.5%（前連結会計年度末は75.7%）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期において、売上高は当初の業績予想どおりに推移しておりますが、利益に関しては、不採算案件の一部解消および既存案件の収益率改善が計画を上回る進捗で進められたことに加え、退職給付債務の割引率変更などにより改善しております。そのため、2025年8月6日開催の取締役会において、2025年5月8日の「2025年3月期決算短信」で公表いたしました2026年3月期第2四半期連結累計期間の連結業績予想を修正することといたしました。なお、通期については、国内外の政策動向や金融市場の変動なども勘案し、当初の業績予想どおりといたします。

詳細につきましては、本日（2025年8月6日）公表いたしました「2026年3月期第2四半期（中間期）業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,233	6,205
売掛金及び契約資産	3,338	3,052
有価証券	-	99
仕掛品	1	20
その他	232	366
流動資産合計	9,806	9,744
固定資産		
有形固定資産	240	210
無形固定資産	3	3
投資その他の資産		
投資有価証券	2,170	2,277
退職給付に係る資産	1,367	1,359
その他	777	772
投資その他の資産合計	4,316	4,409
固定資産合計	4,560	4,623
資産合計	14,366	14,368
負債の部		
流動負債		
買掛金	802	772
短期借入金	230	230
未払法人税等	206	49
賞与引当金	465	279
役員賞与引当金	4	2
受注損失引当金	29	1
その他	648	862
流動負債合計	2,387	2,197
固定負債		
株式報酬引当金	284	292
株式給付引当金	35	42
資産除去債務	203	188
その他	580	798
固定負債合計	1,104	1,321
負債合計	3,491	3,518
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,400	1,400
資本剰余金	1,491	1,491
利益剰余金	7,496	7,381
自己株式	△654	△651
株主資本合計	9,733	9,622
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	727	868
為替換算調整勘定	39	34
退職給付に係る調整累計額	374	324
その他の包括利益累計額合計	1,141	1,227
純資産合計	10,874	10,849
負債純資産合計	14,366	14,368

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）
売上高	4,411	4,546
売上原価	3,525	3,425
売上総利益	886	1,120
販売費及び一般管理費	665	717
営業利益	220	402
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	5	5
消費税差額	0	2
投資事業組合運用益	1	-
その他	0	1
営業外収益合計	8	11
営業外費用		
支払利息	0	0
支払手数料	0	0
投資事業組合運用損	-	0
その他	1	-
営業外費用合計	2	2
経常利益	226	412
特別利益		
投資有価証券売却益	52	1
特別利益合計	52	1
特別損失		
過年度退職給付費用	33	-
特別損失合計	33	-
税金等調整前四半期純利益	245	413
法人税等	87	213
四半期純利益	157	200
親会社株主に帰属する四半期純利益	157	200

（四半期連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）
四半期純利益	157	200
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	63	140
為替換算調整勘定	7	△5
退職給付に係る調整額	△1	△50
その他の包括利益合計	69	85
四半期包括利益	226	285
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	226	285

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	12百万円	16百万円

(セグメント情報等の注記)

当社グループは、システムソリューション・サービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

3. その他

(役員の異動)

役員の異動につきましては、2025年7月23日に開示いたしました「取締役の逝去および異動に関するお知らせ」をご覧ください。